

大鹿村の 協力隊・支援員新聞

11月14(金)

H26年

第5号

大鹿クラフトまつり開催！ 竹岡隊長



こんにちは、木工館の竹岡です。先月遂に開催日を迎えた大鹿クラフトまつり。御協賛いただいた企業・団体・個人様、実行委員、ボランティアスタッフ、役場の方々、御出演いただいた方々、御出展(店)いただいた方々、御来場いただいた方々、関わった全ての方々のお蔭で無事に終了することが出来ました。大鹿村という山奥の村での初開催のイベントという事で、数えきれないほどの苦難を

乗り越えての開催でしたが、二日間で推定千人以上の方に御来場いただく事が出来ました。この規模のクラフトフェアとしてはまだまだ来場者は少なく、村外からの出展者にとって交通費等を考えると、赤字のところが多かったです。その理由として挙げさせていただいたのは、大西公園がクラフトフェアを開催する場所として、とてもすばらしいという事でした。そして他のクラフトフェアでは味わえない大鹿村の持つ独特の雰囲気が入ったと云って下さる方も多くおられました。また、来場者の方からとても良いイベントなので来年以降も続けて欲しい、との多くのお声をいただきました。実行委員会としても前向きに検討していきたいとは思いますが、いくつかの課題も残っており

ます。その中でも一番の課題は飲食ブースが少なすぎたことでしょうか。多くの食べ物や午前中に売り切れちゃいます、御来場いただいた方々には大変ご迷惑をお掛けしてしまいました。御来場者アンケートに於いても、飲食ブースの少なさを指摘される方が大変多くおられました。来年も開催されれば今年以上の来場者数が見込まれますが、この問題を改善しない限り開催は難しいと考えております。このイベントがいつか大鹿村の事をあまり知らない人にも「大鹿村と言えばクラフトまつりやっていると云うよ」と、いわれるようなイベントになればと思っております。

裏面には大谷隊員と永田隊員の活動報告がございます。

まめ大福大運動会

永田支援員

十月吉日、毎年恒例の「まめ大福大運動会」が「あんじやネットホール」にて行われました。毎年行われている運動会ですが、みなさんとても楽しみにされています。約一か月前から練習をはじめ、この日を迎えました。今年の種目は「棒倒し」、「綱送り」、「回転玉入れ」、「応援合戦」、「くす玉割り」、「パンくい競争」と多様な種目となりました。



職員も紅組と白組に分かれ本気で戦いました。利用者さんたちも身体の痛いところも忘れ競技を楽しみました。運動会の後、具合が悪くなる人が出ずに本当に良かったです。普段は穏やかなおじいちゃんやかわいらしいおばあちゃんの本気の姿に圧倒されると同時に、とても面白かったです。「心は歳をとらないのだなあ」と妙に納得しちゃいました。

活動報告 大谷隊員

十月は名古屋の金山駅や東京都庁などで村の特産品と農産物を販売する機会が多くありました。みなさまはどんなものか都会で人気があると思いますか？お客様が最初に手に取るのは『野菜・果物』です。信州といえば新鮮な果物！都会では手に入らない産地直送の美味しい野菜！と思っっている方が多いようで、出店の準備で野菜を並べ始めると開店前から人だかりができるほどの人気です。駅での出

店では電車で移動されるお客様にはあまり重いものは売れないかと予想していたのですが、大きな白菜を豪快に一玉かかえて持って帰る方が何人もいらして嬉しい予想外でした。あと、手作りの餅やこんにやくも大人気です。昔はつくっていたけど今は手間でつくらない、そもそもスーパーの市販品しか知らないという方には、村の方が一生懸命手作りした餅やこんにやくこそ御馳走だといわれます。みなさまが普段何気なく食べている野菜や料理が、都会では最も



＜名古屋市金山駅出店＞

珍しく喜ばれる御馳走なのだと感じました。



＜都庁出店時に人気だったゆるキャラ＞

編集後記

イベント盛りだくさんの十月。前回から「フルカラ版」協力隊支援員新聞に切り替わっております。『村内外の方、より多くの方の為に、見やすく！』という気持ちからです。出来るだけ字を大きくとっておりますが、書きたいことが山ほどですので難しい部分もごさいます。すみません。では次回もお楽しみに！

木下